



平成 30 年度 第 8 回ツアー 案内人と歩く紅葉の伊那谷石仏紀行

い〜なガイドの会
い〜な旅チーム
廣瀬 利一

今回は「日本で最も美しい村」連合に独自性のある地域資源として評価された一つの「高遠石工」の石造物をテーマに案内人熊谷友幸氏と晴天の秋空、紅葉の中を旅してきました。

まず訪れたのは、宮田村中越南羽場、旧東山道の脇に広がる数々の「石仏の聖域」守屋貞治の祖先の作品など時代を超えた高遠石工の石造物集積地に出会う。石塔坂の4,6メートルの大岩をくり抜き、役行者像を納めたのを核として、庚申碑や六地蔵、観音像碑など62基の石造群は我々に強烈な感動を与えました。

バスの車窓から中央・南アルプスの眺望を満喫しながら、手良蟹沢の里山に安置された八十八観音へ向かう。

箕輪町長岡・長松寺、守屋貞治63歳の時作の延命地蔵菩薩

があり、端正で繊細優美でまさしく「貞治仏」と呼ぶにふさわしい名作。経ヶ岳の北、黒沢山から運ばれた原石を全村あげて造立した記録に残る地蔵尊。

もみじ湖の紅葉で一番の人気スポット「もみじのトンネル」へ。日当たりの良い高い場所は燃えるような真っ赤、黄色と緑のコントラストのモミジ見事でした。

林道日陰入線を抜けて片倉集落へ、農家食堂「こかげ」にて昼食。食堂はかつての寒天工場を改修した建物。吹き抜けの解放感あふれる空間が大きくしめ、二階部分には働いていた職人たち「てんや衆」の寝泊まりしたスペースがそのまま残されていました。昔から受け継がれてきた地元の「おごっつお」を味わいのんびりとくつろげる食堂でした。

午後は「高遠石工の祈りの石仏街道」です。各集落の石仏群を見ながら的場「香福寺」へ。お堂の中に六地蔵が並んでおり、寺の説明によれば「咳のお地蔵さま」として村人の信仰が厚く風邪が流行した時など近隣近在から参詣人が絶えなかったとのこと。

高遠勝間の三峰川にかかる常磐橋の袂にある全長1,5メートルの「大聖不動明王」は貞治の最高傑作のひとつである。

最後に建福寺の貞治が彫刻した石仏40体あまりが安置されていて貞治の彫技の真髄に触れることができました。案内人の解り易く思いのこもった解説を聞いた貴重で楽しい一日でした。

ちょっとお出かけ い〜な旅
2018/11/1 (木)

行程

宮田村中越南羽場
手良蟹沢
長松寺
もみじ湖
こかげ 高遠地区石仏